

## 「求む新鮮力―道内大学アメフト部の新勧作戦」⑨北海道医療大

### オンラインだから出来ることも

北海道医療大アメリカンフットボール部の新入生勧誘は、今年もオンラインが主戦場になった。大学の新型コロナウイルス対策で、新入生と直接面談することが禁じられたためだが、勧誘リーダーの主務、竹野佑香さん（4年）は「どこからでも参加できるなど、オンラインのメリットもある」と前向きだ。

1980年創部で、2005年シーズンは1部で戦った実績もある北海道医療大アメフト部だが、近年は部員不足に苦しむ。2020年は道学生選手権2部を棄権し、トーナメントで競った21年も2部の1回戦で敗退した。復活を期す今年のチームは、6人の先輩が抜けて選手は3年生が3人、2年生が1人の4人のみ。スタッフも7人。選手、スタッフの中でただ一人の4年生の竹野主務がチーム再生の舵を取る。「新しいチームを作る」を合言葉に新入生の勧誘作戦が始まった。

大学の新型コロナウイルス対策で始まったオンライン勧誘は今年で3年目。新入生へアメフトの魅力ダイレクトに訴えられないもどかしさはあるが、「制限がある中でも出来ることはある」と今年も知恵を絞った。2月末からツイッターとインスタグラムで「医療大1年生になる皆さんへ」と銘打って、大学生活の疑問に何でも答えることをアピール。アメフト部の活動を紹介する写真もアップした。

4月に入るとまずは9、10日にズームで履修相談会を開いた。薬学部、看護福祉学部、リハビリテーション科学部ごとに部屋を設け、アメフト部の先輩たちが待機。20人ほどの新入生が参加してくれた。竹野主務も1年生の時の時間割を手元に用意し、「難しい科目は何ですか」「選択科目はどれを取りましたか」などの質問に経験を交えて丁寧に答えたという。新入生の反応は上々で、竹野主務は「参加者アンケートでは『参考になった』と喜んでもらった。相談会の最後にちよっぴり、アメフト部の宣伝もしました」と言う。

16日の勉強相談会、大学生活の疑問に答える19日のインスタライブに続き、21日と24日にはいよいよ「部活紹介会イン・ズーム」。アメフト部の練習内容などを、詳しく紹介した。竹野主務は「アメフト部に興味のある新入生が参加してくれ、部の楽しい雰囲気も伝えられた」と手ごたえをつかんだ。選手1人、スタッフ2人が入部を決めた。

オンライン勧誘しか知らない3年生と2年生が、新入生の不安に手を差し伸べるように助言を重ねた勧誘作戦。部員たちの熱意にこたえるように大学も24日、新入生と直接対面しての勧誘を許可した。竹野主務は「連休明けの5月10日から、フラッグフットボール会や練習見学会も始め、もっと多くの仲間を迎えたい」と意気込んだ。



北海道医療大アメフト部員が新入生たちの疑問に答えた履修相談会のズーム画面